

# 学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立下ノ江小学校

## ①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

### 取組の具体①

#### 学習や生活に生きる力を身につける子の育成

学習や生活に生きる力とは・・・

○学んだことや経験したことを学習や生活に活かすこと。

#### <取り組み>

・スキルタイム(毎週火曜日)

算数用語、公式、図や表の描き方等 様々な表現方法の基礎を身に付けるための学習を行っている。

・教室掲示

スキルをいつでも活用できるように、教室に掲示している。

・ICTの活用

自分の考えを、絵や図、式や短い言葉など、学年や単元に応じて様々な表現方法でノートやタブレットに整理できるよう、日頃から指導している。



6年生

スキルタイムで復習したことを掲示

考えを整理する前に、表現方法を選び、見通しをもたせる。



考えの根拠を示すときにも、掲示されたスキルを活用

### 取組の具体②

#### 相手意識をもって対話する子の育成

相手意識とは・・・

○【話す】学んだことを活かして、自分の考えを相手が理解できるようにわかりやすく伝えること。

○【聞く】相手の考えを理解しようとする事。

相手の考えをもとに自分の考えを見直したり深めたりすること。

#### <取り組み>

・学び合いタイム

算数の授業では、1時間に1回以上、目的に応じてタイミングやメンバーを工夫した「学び合いタイム」を行っている。

(例)自分の考えを補完するとき

発表前×同じ考えをもっている友だち

・説明名人カード

学年に応じて作成したカードを活用し、相手を意識した「学び合いタイム」に取り組んでいる。

・ふりかえり

めあてに対し、友だちの考えを聞いて納得したことや考え直したことを記述でふりかえらせている。

説明名人になろう。

- ① 相手に伝える目的は？
- 内容は、一言一語としよう。
  - 「まず(自分の)→→→」と順序よく話そう。
  - 「だから、→→→」と理由を話そう。
  - 「それで、→→→」と結論を話そう。
- ② 相手に伝える内容を準備しよう。
- 「自分の考え」を相手に伝える前に、自分自身で整理しよう。
  - 「自分の考え」を相手に伝える前に、相手に伝わりやすいように整理しよう。
  - 「自分の考え」を相手に伝える前に、相手に伝わりやすいように整理しよう。

← 高学年用

学年の発達段階に応じて作成

2年生

「学び合いタイム」説明名人カードをもとに順序よく説明



6年生

友だちが困っていたら、声をかけ、考えを補う。

ICTを活用した発表  
学び合いタイムで考えを補完し合っているの  
で、自信あり。

